

Time:15:00時点

※前回報：12月6日報 Vol.:28

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

## 米国及び欧州主要中央銀行が0.5%追加利上げ発表、景気後退懸念強まる

■ [12月CP] プロパン：\$650（前月比+\$40）、ブタン：\$650（前月比+\$40） ■ [11月MB平均]：\$440（前月比▲\$2）

エネルギー市場

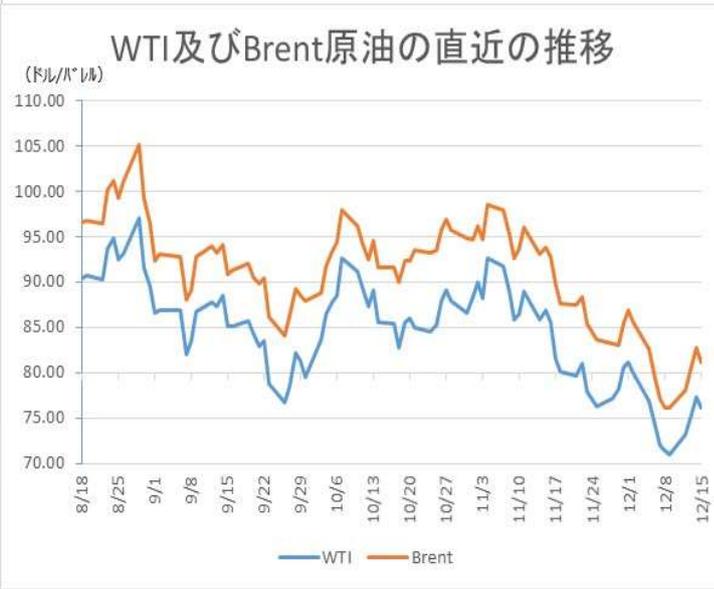
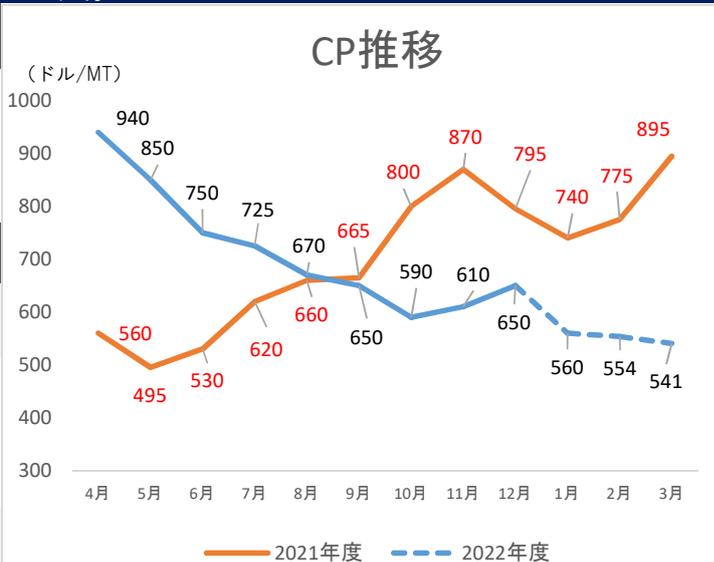
原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI (1月)	76.11	79.98	▲3.87
北海Brent (2月)	81.12		

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 1月	560	▲60	85%	▲3%
MB 12月	356	▲86		

プロパン	2月	3月	4月	5月	6月
CP先物	554	541	521	504	493
プロパン	1月	2月	3月	4月	5月
MB見通し	376	378	377	376	376

外航フレート (USD/MT)	12/16時点	※前回	前回比		
中東-日本	138.5	139.0	▲0.5		
米国-日本 (パナマ運河経由)	200.0	207.0	▲7.0		
為替/TTS	12月予測	11月	10月	9月	
USD/円	20日迄	138.68	146.47	146.84	141.57
	末日迄	138.06	143.48	148.19	144.09

LPG元売り1月改定幅予測値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ： ▲10,700~▲11,300	▲8,100~▲8,700
ENEOSグローブ	改定レンジ： ▲8,300~▲8,900	▲5,800~▲6,400
アストモスエネルギー	改定レンジ： ▲9,400~▲10,000	▲7,100~▲7,700
ジクシス	改定レンジ： ▲8,300~▲8,900	▲5,800~▲6,400



マーケット概況							
	今回	※前回	前回比		今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	32,920.46	34,429.88	▲1,509.42	TOPIX (円)	1,950.21	1,964.90	▲14.69
S&P500 (US\$)	3,852.36	4,071.70	▲219.34	金 (Gold) 先物 (US\$)	1,803.00	1,766.65	+36.35
米国債券10年利回り (%)	3.891	3.488	+0.403	VIX恐怖指数 (%)	22.62	22.52	+0.1
日経平均 (円)	27,527.12	27,777.90	▲250.78				

## 今週のTOPIC

米国及び欧州主要中央銀行が0.5%追加利上げ発表、景気後退懸念強まる

## 原油概況

★WTIは一時71.02\$/バレルまで下落、ロシアのウクライナ侵攻前価格を下回る

## 影響度

強気・  
上昇要因



- ① OPECプラスは現行の日量200万バレル減産を1月も維持すると発表
- ② IEAは2023年世界石油需要を日量170万バレル増（1.7%）と予測（IEA＝国際エネルギー機関）
- ③ 米国の原油パイプライン「キーストーン」が流出事故により稼働停止

弱気・  
下降要因



- ① 11月ロシア石油輸出が4月以降で最高となる日量810万バレルに増加
- ② 米国原油生産が8月以降で最高となる日量1,220万バレルに増加
- ③ 11月NMIが上昇し、FRBによる積極的金融引き締めにつながる懸念（NMI＝米国非製造業総合指数・FRB＝米国連邦準備理事会）

## LPガス概況

★原油価格軟化と米国LPガス生産増によりCPは\$500台に下落する予測

（強気）

- ① 中国ゼロコロナ政策大幅緩和で石油化学工業向け需要が増加する予測

（弱気）

- ① 米国プロパン在庫が生産拡大により前週比0.7%増、増加傾向継続
- ② パナマ運河滞船日数が11～16日と月初より改善の傾向

## 「主要国の政策金利引き上げ状況」

- ・2022年米国と欧州、豪州の中央銀行はインフレ抑制を目的として政策金利を段階的に引き上げてきました。
- ・各国の政策金利引き上げは、株式市況の下落と同時にリスク資産である原油先物の価格下落に影響を与えました。
- ・米国FRBは年初の0.25%から4.5%、欧州中央銀行は0.0%から2.5%、オーストラリア準備銀行は0.1%から3.1%へと引き上げており、今後さらなる引き上げも示唆しています。